

第1回スタインウェイコンクール

in Japan

「才能の宝庫である子供は次世代の宝。」

音楽に楽しさと喜びを持つてほしいです。」(後藤一宏)

訊き手と写真 上田弘子

このたび日本で初めてとなるスタインウェイ・コンクール、「第1回スタインウェイ・コンクール in Japan」が開催される。同コンクールは16歳までを対象としたコンクールで、今秋10月から予選がスタート、本選は来春4月。コンクールを前に、スタインウェイ・ジャパン株式会社・代表取締役社長の後藤一宏氏にお話を伺った。

♪ハンブルク開催は今年75周年

1853年創立のスタインウェイ&サンズ社。同社が主催する「スタインウェイ・コンクール」はヨーロッパ各国(ドイツ、ベルギー、フランス、デンマーク、オランダ、スペイン、スウェーデン)と、最近では中国でも開催されています。中でもドイツのハンブルクでは1936年から、ベルリンでは1953年からと、歴史もありますね。そのように既に広く認知されていますから、今まで日本

での同コンクール開催がなかったというのは意外でした。

後藤 やつと日本でも出来るような基盤が出来たといえますか、機が熟したなと思つていきます。というのも、スタインウェイ・コンクールは、「スタインウェイ」の名を冠して日本独自の内容では出来ないんです。年齢カテゴリーやコンクールでの演奏曲に関してなど、ヨーロッパのスタインウェイ・コンクールから著しく逸脱してはならないんですよ。それでも細かな部分に関しては、これでは日本開催は難しいと思われるところもありましたから、そこはヨーロッパ側と交渉を重ねたんです。なるほど。コンクールの参加要項を拝見して、「課題曲」とは書かれていなくて「演奏曲」となっているなど、既製のコンクールとは随分と異なる点も見られたので。

後藤 そこなんです。うちとしましては、既製のコンクールに対抗するとか、才能の発掘



や育成とか、そういった趣旨では全くないんです。コンクールでは自由選択(自由曲)ですから、お子さんの個性に合った曲を楽しく弾いて頂きたい、人前で演奏することをエンジョイしてもらいたい。それが一番なんです。また有難いことに現在、演奏会で使われるピアノはスタインウェイが多いですから、子供のうちからスタインウェイピアノに馴染んでもらおうと。全国6ヶ所での予選はスタインウェイ・ディーラーが行いますから、練習もスタインウェイピアノで出来ます。

♪真の才能、真の個性が発揮できる

コンクールを受けるにあたって課題曲など細かく指定があると、ある意味とても分かりやすく受けやすいです。しかし「コンクール弾き」といいますか、傾向と対策がバッチリ出来て、それが結果として没個性や真の才能の芽を摘むなど弊害もあります。指定された課題曲という枠がないことで、本当に子供らしい伸び伸びとした演奏に出会えそうですよね。

後藤 そう願っています。古くはクリストフ・エツシエンバッハ(52年)、内外で大活躍している小菅優(95年)やアリス・紗良・オット(99年)も優勝していますし、マルティン・ヘルムヒェンなどは幾つものカテゴリー(89、97年)で優勝しています。スタインウェイ・コンクール出身者である彼らの活躍ぶりなど、本当に嬉しいです。



6会場での予選で、4カテゴリー（A～D）から「最優秀賞」1名がそれぞれ選ばれて、計24名が本選へ。そしてその中から優勝者（1名）が決定。
後藤 そうです。そして優勝者は2年に1度ハンブルクで開催される『International Steinway Festival』に招待されます。そこで各国の優勝者達とガラ・コンサートに出演したり、ハンブルクのスタインウェイピアノの工場見学や観光もあります。

各国からのピアニスト達との交流も刺激になるでしょうし、「初めての海外」という子もいるでしょうから、それは何よりのご褒美ではないでしょうか。
後藤 見聞を広めるといってオーバーかもしませんが、海外の人との交流や旅行は財産にもなります。辛いコンクールという概念ではなくて、とにかく楽しんで豊かな才能を発揮してもらいたいと思っています。

第1回スタインウェイ・コンクール in Japan

■応募資格

- ・1995年4月2日から2007年4月1日までに生まれた方。
- 年齢カテゴリーA：2004年4月2日～2007年4月1日生まれ
- 年齢カテゴリーB：2001年4月2日～2004年4月1日生まれ
- 年齢カテゴリーC：1998年4月2日～2001年4月1日生まれ
- 年齢カテゴリーD：1995年4月2日～1998年4月1日生まれ
- ・国籍は問いません。ただし日本に居住していない方は参加できません。

■日程・会場

- 地区審査会=6会場の中から、1会場にのみ参加できます。
- | | | | |
|-----|-----------|------------------|------------------|
| 西宮 | 10月15、16日 | (株)松尾楽器商会・西宮北口店 | TEL 0798-68-0160 |
| 名古屋 | 10月22、23日 | (株)名古屋ピアノ調律センター | TEL 052-802-1155 |
| 札幌 | 10月29、30日 | (株)井関楽器・札幌ショールーム | TEL 011-214-8833 |
| 広島 | 11月5、6日 | (株)浜松ピアノ社 | TEL 082-247-0006 |
| 高知 | 11月19、20日 | (株)楽器堂・オーパスクラブ | TEL 088-802-2555 |
| 東京 | 11月26、27日 | (株)松尾楽器商会・本店 | TEL 03-3539-1711 |
- 各地区審査会の各年齢カテゴリーより1名ずつが「最優秀賞」として本選に出場。

本選 2012年4月1日、王子ホール

入場チケットを一般に販売し、「公開」で実施します。

■地区審査会での演奏曲

- 既に発表されている曲で（初演は不可）、演奏者の表現力が判断できるもの。
古典派、ロマン派、20世紀の楽曲から選択すること。
年齢カテゴリーBからDは、2曲のうち1曲は古典派の曲を含めること。
2曲を用意し、2曲とも演奏すること。
年齢カテゴリーA：1曲につき3分までとし、入退場を含め6分を超えないこと。
年齢カテゴリーB：1曲につき4分までとし、入退場を含め8分を超えないこと。
年齢カテゴリーC：1曲につき5分までとし、入退場を含め10分を超えないこと。
年齢カテゴリーD：1曲につき7分までとし、入退場を含め14分を超えないこと。

■参加費 地区審査会：5,000円 本選：10,000円

■表彰

地区審査会=本選に出場できる「最優秀賞」のほかに、「優秀賞」「奨励賞」などが授与されます。

本選=本選では、各年齢カテゴリーとも、1位から3位までが授与されます。年齢カテゴリーごとに、聴衆に最も感動を与えた演奏者に「聴衆賞」が授与されます。

本選の入賞者の中から1名が、優勝者として2年に1度ドイツ・ハンブルクで開催される“International Steinway Festival”に招待され（本人と大人1名）、各国のコンクール優勝者たちと一緒にガラ・コンサートで演奏する機会が与えられます。

■応募方法

参加申込書をスタインウェイ・ジャパン(株)のサイト www.steinway.co.jp/competition からご入手ください。

申込書をダウンロードして印刷した後、必要事項を全てご記入のうえ、顔写真（カラー、縦4cm×横3cm）を貼付してスタインウェイ・ジャパン(株)へご郵送ください。（2011年8月1日必着）

■お問い合わせ

地区審査会の各会場に直接お問い合わせいただくか下記まで。

〒105-0003 東京都港区西新橋1-1-15
物産ビル別館8F
スタインウェイ・ジャパン株式会社
コンクールお問い合わせメールアドレス
competition@steinway.co.jp